

「ふくすいき

令和5年11月号

～福水企～ 通信



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

● 福岡地区水道企業団 設立 50 周年記念式典 【10/14 (土) 福岡市役所ふれあい広場】

10月14日(土)に福岡市役所西側ふれあい広場にて、福岡地区水道企業団の設立 50 周年記念式典を開催しました。

福岡都市圏及び水源地域自治体の多くの首長が出席され、議員をはじめ、その他来賓、関係団体等、企業団の事業運営を支えていただいている関係者の皆様のご来場、ご列席のもと、筑後川をはじめとする水源地域への感謝をお届けする場として、式典を執り行いました。



記念式典の様子

今回の 50 周年記念事業では、大学生、高校生、NPO など、たくさんの方にご協力いただき、福岡都市圏の水事情を理解して下さった水源地域へ感謝の気持ちをお届けするための、様々な事業を推進することができたことを報告しました。



高島福岡市長からのビデオメッセージ

式典では、福岡都市圏広域行政事業組合の管理者であり、福岡地区水道企業団の運営協議会会長でもある、高島福岡市長からのビデオメッセージも紹介されました。

また、ステージ上には、多くの方々から寄せられた筑後川への感謝の言葉を木型のパネルに集めた「ありがとうの森」を飾りました。感謝の気持ちを目に見える形で水源地域にお届けする「ありがとうの森プロジェクト」を動画で紹介して、

水源地域自治体の皆さまに目録を贈呈しました。

これに対しては、水源地域自治体の皆さまを代表して、林朝倉市長よりご挨拶をいただきました。



中村企業長による謝辞



朝倉市 林市長によるご挨拶

最後は、中村企業長より『今後も安全で安心な水道用水を、安定的に供給する』ことを宣言して、盛況のうちに式典を終えることができました。

<総務課 川中>

●令和5年度日本水道協会全国会議（第103回総会・水道研究発表会）【参加しました】

〔10/18（水）～20（金） 東京都〕

10月18日（水）から3日間にわたり、令和5年度日本水道協会全国会議が東京都の「東京ビッグサイト（東京国際展示場）」で開催され、当企業団からは職員5名が参加しました。全国から多くの水道関係者が集結して、水道が抱える課題解決に向けた議論を展開するとともに、活発な情報交換が行われました。

総会では、会員から提出された問題の討議や水道事業に尽力した功績者の方々への表彰があり、多くの方が受賞されました。

研究発表会では、全国の企業、事業体、学識経験者の方々等から全11部門（事務、計画、水源・取水、浄水、導・送・配水、給水装置、機械・電気・計装、水質、リスク管理・災害対策、脱炭素化、英語）で468編の発表があり、日々の業務や研究の成果など産学官による最新の知見が披露されました。

浄水部門や水質部門の発表の中には、近年話題となっている有機フッ素化合物（PFAS）の浄水処理や検査方法に関するものがあり、聴講されている人が多く、関心の高さがうかがえました。中でも、「粒状活性炭処理における有機フッ素化合物の破過におよぼす水質の影響」という発表では、21種のPFASについて、PFASの炭素数や水温で粒状活性炭処理による除去能力がどう変わるのかを研究されており、実際に浄水業務に携わる者として大変勉強になりました。

さらに、日本水道協会全国会議と並行して一般社団法人日本水道工業団体連合会主催の水道展も開催されており、各企業の紹介ブースでは、最新技術を駆使した製品やシステム、サービス等が紹介されていました。今後、水道業務に関わる中で、新技術の採用も検討していきたいと感じました。

今回の参加で得た知見を参考にしながら、よりよい水質監視・水質検査の方法を確立し、安全で良質な水道用水の安定的な供給につなげていきたいと思います。

<水質センター 宇野>



●用水供給事業促進対策委員会・現地視察【開催しました】〔10/27（金）企業団大会議室 外〕

用水供給事業促進対策委員会（企業団議員全員で構成）が開催され、浸透圧発電の実用化等について説明し、質疑が行われました。

また、委員会終了後、監査委員と合同で水質センター、牛頸浄水場及び海水淡水化センターの現地視察を行い、施設の現状などについて説明を受けられました。

<総務課 佐藤>



水質センター



牛頸浄水場



海水淡水化センター

●牛頸まつりコスモス花見会と施設見学会【開催しました】〔10/28(土)・29(日)牛頸浄水場〕

牛頸浄水場では、地域の皆さまを対象にコスモス花見会と浄水場の施設見学会を開催していますが、今年度は企業団設立 50 周年記念事業として従来のコスモス花見会の規模を拡大して開催しました。

28 日・29 日ともに天候に恵まれ、2 日間で過去最多の約 650 人の方々にご来場いただき、初日には井本大野城市長も来場されました。

今年のコスモスは背丈が高く満開で、来場された方々は、花畑の中を小さな子どもさんと散策されたり、写真を撮影されたりして楽しいひとときを過ごされていました。

今後も、地域の皆さまの良き思い出づくりの一助となれるよう努めてまいります。

＜牛頸浄水場 藤井＞



牛頸まつり会場の様子



井本市長と記念撮影

●九州産業大学での感謝状贈呈式【開催しました】〔10/30(月)九州産業大学〕

当企業団設立 50 周年記念事業として、九州産業大学、福岡市教育委員会と協働して福岡都市圏の小学生向けの学習動画「水のめぐみ～筑後川がつなぐ私たちの暮らし～」を制作しました。

制作にあたった九州産業大学芸術学部の星野研究室を 10 月 30 日に訪問し、研究室の皆さんに感謝状と記念品を贈呈しました。

完成動画は、福岡市教育委員会の“つながるクラウド”に公開されています。また、11 月に開催される福岡市の社会科の先生の集まりで、この学習動画が紹介される予定です。

今後、多くの子供たちの学習の場で、この学習動画が活用されることを期待しています。

＜総務課 川中＞



制作された皆さんと記念撮影



星野先生をはじめ学生の皆さんに感謝状と記念品を贈呈



学習動画のワンシーン



“つながるクラウド”へのリンクはこちら↑

●令和5年度福岡市防災フェア【開催しました】〔11/3（金・祝）福岡市役所西側ふれあい広場〕

防災について「見て！学んで！体験できる！」イベントとして、例年開催されている防災フェアに当企業団も参加しました。当日は勇壮な 纏^{まつい}太鼓演技から幕を明け、ドゲンジャーズとの写真撮影会もあって、多くのちびっ子が訪れて、大変賑わっていました。当企業団からは災害用備蓄飲料水を配布しましたが、当日の気温が高かったこともあって、用意した600本近くが2時間で無くなるほどの大盛況でした。

＜総務課 川中＞



勇壮な纏太鼓演技



備蓄飲料水の配布の様子



給水車からの水を配布する様子

●福岡女子商業高校での感謝状贈呈式【開催しました】〔11/6（月）福岡女子商業高校〕

当企業団の設立50周年に際して、高校生が「筑後川へのありがとうを集めよう！」プロジェクトを立ち上げ、博多駅前広場や天神地下街イベント広場、学校内で2,500件を超える「ありがとう」を集めてくれました。

このプロジェクトに参加した福岡女子商業高校の学生に対し、11月6日に同校を訪問し、感謝状を贈呈しました。生徒たちからは「このプロジェクトを通じていろんな人に出会いました」との声が聞かれました。

＜総務課 川中＞



受賞者の皆さんと記念撮影



柴山校長先生をはじめ学生の皆さんに感謝状と記念品を贈呈



■水源地域との交流事業

実施レポート

●流域連携基金事業「筑後川のめぐみフェスティバル」〔10/14（土）・15（日）福岡市役所ふれあい広場〕

福岡都市圏は、使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っています。このため、筑後川への感謝の気持ちを表し、福岡都市圏住民と筑後川流域住民との交流を深めるため、毎年「筑後川のめぐみフェスティバル」が福岡都市圏広域行政事業組合の主催（当企業団共催）で開催されています。

今年は10月14日、15日の2日間にわたり開催され、天候にも恵まれて、多くの来場者で賑わいました。



オープニングのくす玉割りの様子

オープニングセレモニーでは、筑後川流域の観光大使やマスコットキャラクターなど登壇者全員によるくす玉割りが行われました。

会場には、54 のブースが設置され、筑後川流域から出店したグルメ・物産品販売が大勢の人でにぎわい、ステージでは、筑後川流域の郷土芸能の「久留米城島龍神太鼓」や「柳川日吉太鼓」の演奏、あいくる、Ref Rise、Voyager、HAKU、Satoru Nakagaki、さえき まゆこさんのライブ、観光物産 PR、物産品抽選会などのアトラクションがありました。

会場内では、来場者と筑後川流域のマスコットキャラクターとの交流、さらにテレビやラジオの生中継取材などもありました。

当企業団は、利き水コーナー（海水淡水化水・水道水・ミネラルウォーターの3種類の水の飲み比べ）を実施し、2日間で1,763 人の参加がありました。今回は、企業団設立 50 周年記念の企画として、PICFA の皆さんが描いた「水」をイメージしたアート作品も展示しました。

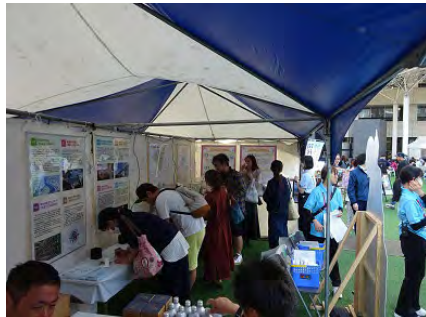
来場者の皆さまには、フェスティバルを通して「水」について考え、筑後川のめぐみを感じていただける良い機会になったことと思います。

また、利き水コーナーの運営にあたり、ご協力をいただきました、宗像市、糸島市、春日市、新宮町の職員の皆さまには、厚くお礼申し上げます。

＜総務課 川中＞



利き水コーナーの様子



PICFA によるアート作品

●第 36 回 筑後川河川美化「ノーポイ」運動〔10/22（日）久留米市 筑後川河川敷〕

河川環境の整備・保持や河川美化意識の高揚と河川愛護思想の啓発を目的とする清掃活動が、国土交通省筑後川河川事務所の主催により、筑後川、矢部川で開催されています。

今年は、会場の一つである筑後川に、地元住民の皆さんや自治体職員のほか、福岡都市圏の水道関係職員 29 人、企業団職員 13 人が参加し、久留米市内で多くの人が筑後川の堤防や河川敷に投棄されたゴミの回収を行いました。

企業団では、ゴミ投棄防止の啓発と河川や海的环境保全のために、今後もこの活動に参加してまいります。

＜総務課 川中＞



開会セレモニー



ゴミ回収作業



福岡都市圏・企業団参加者

●弥生の都吉野ヶ里交流事業〔11/4（土）佐賀県吉野ヶ里町〕

福岡都市圏の水源地である五ヶ山ダム水源地域において、水源地の大切さを理解し、水源地域の振興及び活性化を図ることを目的として、弥生の都吉野ヶ里交流事業実行委員会（吉野ヶ里町、福岡市水道局、当企業団で構成）の主催により、交流事業が実施されています。

福岡市内に住むか通学する小・中学生と保護者 10 組 33 人が参加し、那珂川市と吉野ヶ里町にまたがる五ヶ山ダムで、福岡市職員からダムの説明を受けた後、堤体から見学しました。

次に、ダム建設により水没する場所にあった御神木を 43m の高低差を引き上げて移植された「小川内^{おがわち}の杉」を見学し、吉野ヶ里の自然・歴史などの説明を受けました。

その後、吉野ヶ里町の「さとやま交流館」で、猪肉などの地元の食材を使ったバーベキューや地元産の「栄西茶」で昼食をとった後、木の实を使った工作で、思い思いの作品作りに挑戦しました。

また、地域に昔からある景色を楽しみながら歩く、フットパス（松隈・坂本コース）などを体験しました。

参加者の皆さんは、水や森林、水源地の大切さを学ぶとともに、自然豊かな吉野ヶ里町での一日を楽しまれたことと思います。



五ヶ山ダムでの見学



吉野ヶ里の自然・歴史の学習

<総務課 川中>



昼食の様子



木の实を使った工作に挑戦



フットパスの様子

11 月、12 月の予定【開催されます】

●水郷^{すいきょう}ひたの森づくり（植樹）〔11/11（土）大分県日田市〕

大分県日田市は、筑後川の流域にあり、山々の緑と清流の里「水郷ひた」として知られています。

その日田市では、先人たちから受け継いだ森林の恵みを未来へつなぐため、毎年「市民参加の森づくり大会」が開催されます。この取り組みでは、森づくりを通して豊かな森林を守り育てることにより、福岡都市圏住民と筑後川流域住民が交流親睦を深めています。

福岡市を含む 17 の市町で構成される福岡都市圏は、使用する水道水の約 3 分の 1 を筑後川の水に頼っています。「水」の大切さを学ぶとともに、筑後川への感謝の気持ちを込めて「植樹活動」に参加していただいています。（針葉樹を広葉樹に植え替えています。）

日 時 令和 5 年 11 月 11 日（土）8：15～16：15（予定）

※小雨決行、荒天の場合中止

開催場所 大分県日田市



植樹作業の様子

●第21回水をつなぐ流域交流 in 下戸河内^{しもとごうち}〔11/12(日) 朝倉市江川〕

朝倉市江川地区において、福岡市の住民の皆さんが、水の大切さや水を守っている地域について理解を深めることを目的として、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会の主催により、植樹・交流会が開催されています。

今年も、昨年と同様に交流会などは中止し、植樹のみが実施されます。

この事業に企業団も参加し、植樹作業を行います。

日 時 令和5年11月12日(日) 9:00～
開催場所 朝倉市江川下戸河内



植樹後の記念写真(令和4年度)

●200 海里の森づくり・植樹〔11/18(土) 大分県日田市中津江村〕

筑後川上流域の日田市中津江村において、福岡都市圏広域行政事業組合主催(当企業団共催)により、植樹及び交流会が行われます。

この活動は、森づくりを通して上下流域の人々の親睦を深めることを目的に開催されるもので、毎年、福岡都市圏から多くの皆さんが参加されます。

当企業団も植樹活動・交流会に参加します。

日 時 令和5年11月18日(土)
9:30～15:30(予定)
開催場所 日田市中津江村合瀬



昨年の植樹作業の様子

●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動〔11/28(火) 朝倉市佐田〕

この運動は、河川愛護や水産資源の保護を目的に、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の主催で毎年開催されています。

当企業団は、各構成団体、福岡都市圏広域行政事業組合の職員の皆さんとともに、佐田川の寺内ダム貯水池周辺の清掃活動に参加します。参加される各構成団体の皆さん、当日の作業をよろしくお願いします。

日 時 令和5年11月28日(火)
9:00～11:30(予定)
開催場所 佐田川(寺内ダム貯水池周辺)、小石原川(江川ダム貯水池周辺)



回収ゴミの分別作業の様子

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

11月、12月の予定

●秋の田来原ノルディック・ウォーキング〔11/11(土) 日田市大山町 田来原美しい森づくり公園〕

(日田市大山振興局から情報提供いただきました。)

2本のポールを使用するノルディック・ウォーキングで、公園を出て、紅葉の美しい森の中を散策する約7kmのコースを巡ります。「もみじ谷」といわれる大山町の紅葉スポットが見どころです。

日 程 令和5年11月11日(土) 9:30～
開 催 場 所 田来原美しい森づくり公園
参 加 費 無料
問い合わせ先 日田市大山振興局 TEL: 0973-52-3101



●「第44回日田天領まつり」・「第19回千年明かり」〔11/10(金)～12(日) 日田市 豆田地区他〕
(日田市大山振興局から情報提供いただきました。)

江戸時代、日田は幕府直轄の天領として栄え、九州を統括する「西国筋郡代」が置かれた山間の都でした。

「日田天領まつり」は、江戸時代の風情と現代の営みが調和する豆田地区で天領として栄えた様子を今に再現するお祭りです。

また、夜には「千年あかり」が開催されており、竹灯笼で幻想的な美しい風景等をご覧ください。

秋の田来原ノルディック・ウォーキングとあわせて、11月10日～12日は、ぜひ日田市に足をお運びください。



日 程 〔日田天領まつり〕 令和5年11月11日(土)～12日(日)
〔千年あかり〕 令和5年11月10日(金)～12日(日)
※千年あかりのみ3日とも16:30～21:00
開 催 場 所 〔日田天領まつり〕豆田地区/月隈公園周辺
〔千年あかり〕 花月川周辺/丸山・豆田地区
問い合わせ先 日田市観光課 TEL: 0973-22-8210
日田市観光協会 TEL: 0973-22-2036

●第3回あさくら祭り〔11/18(土)・19(日)朝倉市ピーポート甘木・JA 筑前あさくら本店周辺〕
(朝倉市から情報提供いただきました。)

「羽ばたけ! 輝きの地 朝倉」をテーマに本年度開催が決定いたしました。朝倉市の特産品の販売や、朝倉ならではの催し物など、子供から大人まで楽しめるイベントが行われます。

また、前回大好評だった「ねぎ飛ばし大会」も開催されます。

日 程 令和5年11月18日(土)・19日(日)
開 催 場 所 朝倉市甘木
ピーポート甘木
JA 筑前あさくら本店周辺
問い合わせ先 あさくら祭り実行員会事務局
TEL: 0946-23-2222



●柳坂ハゼ祭り〔11/18（土）～11/26（日）久留米市山本町豊田 柳坂曾根の^{はげ}櫨並木周辺〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました。）

柳坂曾根のハゼは、久留米藩が寛保2年（1742年）に灯明用の蠟の原料として植樹したもので、柳坂曾根の^{はげなみき}櫨並木には「伊吉ハゼ」を含め約260本が植えられています。

老木のハゼは高さ5～6m、幹周り2m程あるものもあり、約1.2km続く並木道は、県の天然記念物に指定され、新・日本街路樹100景にも選ばれています。

また、11月18日、19日、23日は、並木道が歩行者天国となります。



燃えるような紅葉が美しい櫨並木

日 程	令和5年11月18日（土）～11月26日（日）
開 催 場 所	柳坂曾根の櫨並木周辺（久留米市山本町豊田）
駐 車 場	くるめ緑花センター大駐車場 約100台 その他臨時駐車場 約100台
問い合わせ先	柳坂ハゼ祭り実行委員会 TEL：090-3071-9868

●おしろい祭り〔12/2（土）^{おおよまづみ}朝倉市 大山祇神社〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

古くからの言い伝えでは、大山祇神社は「山の神」と呼ばれ、一般的に山の神は「女の神様」を指し示しますが、その「女の神様」がお化粧をすることを「おしろいをぬる」と言われています。このおしろいは、新米を粉にして水で溶いたもので“しとぎ”と呼ばれていますが、“しとぎ”は、「餅の原型」とも言われ、古くから神前のお供えものとしてハレの日に欠かせない存在です。

朝倉市杷木大山の大山祇神社で行われる300年以上続く全国的にも珍しい「おしろい祭り」は、この“しとぎ”を顔に塗るもので、その昔、農家の人が氏子の繁栄と新穀の豊作を神に報告、感謝し、来年の五穀豊穡を祈願する行事で、全国でも類のない奇習です。

毎年12月2日に行われ、当日は午後2時頃から宮座が始まります。宮司のお祓い、祝詞が奏上された後、氏子全員が宮座の膳につき、お神酒がまわり始めると、座元と言われる人達が“しとぎ”を持ち出して宮司の顔から塗り始め、参拝者全員におしろいが塗られていきます。このおしろいの付き具合で来年の「作柄」が占われます。

このおしろいは家に帰るまで落としてはならず、帰ってから顔を洗った水を家畜に飲ませると丈夫に育つそうです。

宮座の膳を持ち帰るための「藁わらつと」が用意されており、お酒で火照った顔におしろいが塗られた顔のままで、「藁つと」を肩に担いで家路につく姿は素朴な風景です。



日 時	令和5年12月2日（土） 14：00～
開 催 場 所	大山祇神社（朝倉市杷木大山） ※ 駐車場なし
問い合わせ先	道の駅「原鶴」インフォメーションセンター TEL：0946-62-0730

水源情報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
「水源情報」が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

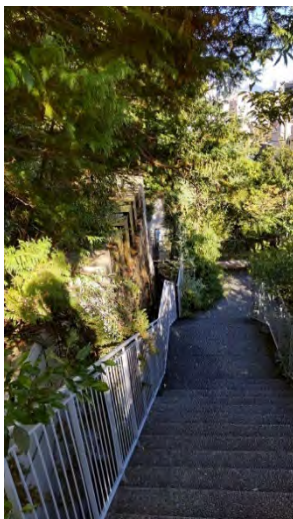
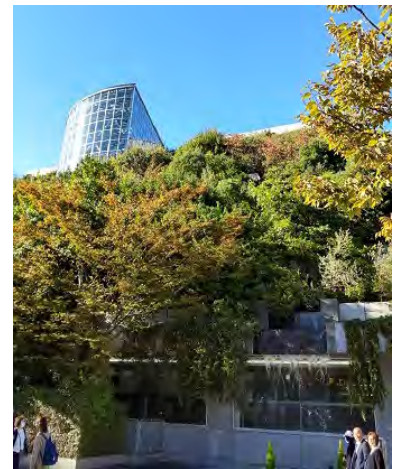
<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

編集後記

皆さん、天神の街中で登山が楽しめることをご存じでしょうか？とは言え、本格的な登山では無く、「アクロス山」と呼ばれる、アクロス福岡のステップガーデンのことで、屋上までの300段強の階段を登れる設備のことです。このステップガーデンは天神中央公園の緑が最上階まで連続して見えるように、混植大刈込手法が採用されています。植栽は各階のルーフ植込みと一段低い位置に張り出したミニプランターから構成され、大刈込みを全体におこない、一体化させています。屋上緑化面積は2階部分から14階部分までで約5,400㎡。建築当初は全体で76種、37,000本を植栽しました。

その後、補植したり野鳥等によって運ばれた樹種が増え、現在では200種類ほどになっています。階段状の斜面に緑があふれ、滝が流れる屋上庭園はちょっとした都会のオアシスと呼べる空間です。

入場料は無料で、3月～10月は9:00～18:00、11月～2月は9:00～17:00が開園時間で、屋上展望台は土日祝日(10:00～16:00)のみ開園します。



是非一度、アクロス山で憩いのひと時をお過ごしください。
＜川＞



★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください

福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Twitter、Facebook ページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ

YouTube JP

福岡地区水道企業団



福岡地区設立 50 周年記念事業関係 HP,SNS

50 周年記念特設ページ



アイアンキングの部屋



企業団 50 年のあゆみ（Web 版）

